



平成31年1月21日

第26回稚内開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

平成30年12月12日（水）に開催した、第26回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理課 課長 さとう しげかず 佐藤 茂一 電話 0162-33-1031

技術管理課 課長補佐 いしい かつひで 石井 克英 電話 0162-33-1086

稚内開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_wk



第26回 稚内開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成30年12月12日(水) 枝幸町中央コミュニティセンター	
委員長 委員	萩原 亨 (北海道大学大学院教授) 宮武 誠 (函館工業高等専門学校准教授) (印は委員長)	
議事	<p>1 平成30年度上半期総合評価落札方式(工事・業務)の実施状況について</p> <p>2 個別審議</p> <p>抽出工事の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道275号 中頓別町 和泉橋補修外一連工事 ・サロベツ地区 兜沼東地域農地保全工事 ・サロベツ地区 清明北地域農地保全工事 ・稚内空港滑走路端安全区域その他工事 <p>抽出業務の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稚内開発建設部管内 自転車走行環境調査検討業務 	
	<p>委員からの意見・質問、それに対する回答</p> <p>(応札者の提案又は、その評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載していません。)</p>	
意見・質問	回 答	
<p>個別審議</p> <p>抽出された工事4件、業務1件について概要説明及び審議を行った。</p> <p>一般国道275号 中頓別町 和泉橋補修外一連工事 (施工能力評価型 型 登録基幹技能者評価型)</p> <p>・別記様式4「施工経験に基づく施工計画の様式(当該工事での留意事項等)」は、テーマが詳しく書いてあり、提案内容と見比べて、妥当な提案内容であるかの判別がつきやすく良い。</p>		

・別記様式4の注記に、「また」「なお」などの接続詞で複数の回答を書かないようにと記載しているが、従前から記載しているのか。

・提案内容を複数記載し、いずれかを評価してもらうとの発想ではなく、回答を1つに絞り記載させ、その内容を評価するのは非常によろしいかと思う。

・各社の提案内容の着目点に違いがあるが、着目点や提案理由ではなく、提案内容が評価されるということによいか。

・オーバースペックな提案については評価しないとしているが、オーバースペックの判断基準を教えてください。

【一括審査】

サロベツ地区

兜沼東地域農地保全工事

サロベツ地区

清明北地域農地保全工事

(施工能力評価型 型)

・工事内容からも提案を求める評価テーマに排水の水質管理に関するものがあってよかったのではないか。

・3年前から記載しています。

・提案内容を評価しています。

・コストをかけて、単純に、仕様書等に定められた確認回数を増やす、添加剤等を加えて材料の耐久性や機能等を向上させる、安全監視員等の人数を増やす、等の提案はオーバースペックとしています。

・サロベツ地区では複数工事を発注しており、複数の工事で求めるテーマが同じにならないように運用しています。このため、別の工事で水質汚濁防止に関するテーマを設定したことから当該工事では別のテーマを設けました。

・同じような工事で、同様のテーマを設定すると、提案内容が使い回しで済まされてしまうと危惧していた。各工事が、すべて同じテーマを設定していないとのことで了解した。

稚内空港滑走路端安全区域その他工事
(技術提案評価型S型)

・提案を求めるテーマについては、標準化されているのか。それとも工事毎に、検討し設定するのか。

・様式に提案内容を記載する際には、特段制約がなく自由に記載して良いのか。

・過去の提案内容や提案実例が公開されたりはしないのか。

・工事毎に内容にあわせて検討しテーマを設定しています。

・様式の枠内に収まるのであれば、写真・図表等を貼り付けてもよく、特段制約は設けておりません。

・知的財産権とまではいわなくても、技術者が経験や知見に基づき作成された提案書類であるため公開はしていません。ただし、S型工事では、提案内容の評価結果について質問を受け付ける期間を設けており、落札できなかった社からの提案内容が評価されなかった部分の照会については、入札手続上問題のない範囲内で回答しています。それを受けて業者の提案技術力向上が図られていると思われま

<p>稚内開発建設部管内 自転車走行環境調査検討業務 (標準プロポーザル方式)</p> <p>・特段、意見・質問なし</p> <p>【抽出された工事・業務については、適切な評価として認める】</p>	<p>以上</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------